

株式会社三和ドック（広島県尾道市）

女性総合職の拡大に向けた環境づくり

# 因島で働きやすい 職場環境を提供し 地元貢献できる企業に

## 会社の姿勢

### 性別も国籍も区別しない

少子高齢化の現代日本で優秀な人材を確保するには、性別や国籍にとらわれない幅広い人材に目を向けるべきである。当然、女性も歓迎。海外では造船業界で働く女性も多いため、日本でも女性が増えていくと思われる。実際、仕事をやっていく上で男女の差はほとんどないと考えている。社員が仕事を続けていくためのサポートは、男女を問わずやっていきたい。

因島で雇用を創出し、社員が家族を持って因島に根付いていけるようにすることが、企業としての地元への貢献になる。その一環として、今後は時短勤務やフレックスといった制度を整備していく。

## 社内環境

### 初の女性技術系総合職に期待

女性専用のシャワールームや更衣室を備えた新社屋が、平成28年に完成。更衣室は広く快適で、冷蔵庫やレンジ、流しも完備された女性社員たちの憩いの場所となっている。利用時は靴を脱いで上げられるなど、女性社員たちの要望を多く取り入れた。

平成29年には、初の女性技術系総合職が入社、平成30年にはさらに2名が入社予定。また、入社予定の男性技術系総合職5名のうち2名はマレーシアからの留学生。女性総合職や外国人も自然体で受け入れ、何か問題があればその都度解決していくように会社としても柔軟に対応する。平成28年には独身寮の一部を女性専用改装、現在は2名が生活している。廊下の窓をすりガラスにしてプライバシーに配慮するなどの工夫を加えている。女性用の作業服も新しく作製。

実力主義の採用を続けるためには環境づくりも重要と考え、様々な面で改善を続けている。



総務の取りまとめ役である村上貴恵さんは、職場での問題点や課題があれば寺西取締役へ直接進言。会社としても、仕事のための改革案を歓迎している。



新社屋は、平成29年に第30回日経ニューオフィス賞を受賞した。目玉となった最上階の展望カフェで昼食を食べる女性社員が多く、休憩時間のくつろぎスペースとなっている。



VOICE

新谷 真未さん  
初の女性総合職として入社1年目。女性造船技術者のモデルケースとなるべく、日々勉強中。  
「まだまだ女性が現場に来ることへの戸惑いや心配の声も頂きますが、それらの声にも敬意を払いつつ、もっと勉強して、より安全な職場づくりに貢献したいです。」

#### 取り組んでいる会社の概要

### 株式会社三和ドック

代表者：寺西 勇（代表取締役社長）  
所在地：広島県尾道市因島重井町600番地  
資本金：7,000万円  
事業内容：各種船舶の修理及び改造  
従業員数：354名

（平成29年8月時点）